

# 医療目指す高校生に奨学金

東日本大震災の被災地を支援した国際医療救済団体「AMD A」

(北区)の菅波茂代表は25日、北区で記者会見し、被災地での緊急医療支援活動を報告し、今後の復興支援活動について発表した。岩手県大槌町の大槌病院と宮城県南三陸町の志津川病院を支援する3力年計画や、医療人を目指す両県の高校生に奨学金を支給することなどを明らかにした。【江見洋】

## 東日本 大震災

岩手 大槌病院 宮城 志津川病院 支援へ



## AMD A 被災地で巡回診療

医療支援では、岩手大槌町で協力を得た避  
災釜石市、大槌町や南  
三陸町の避難所に常駐  
して医療活動や、小さ  
な避難所や自宅避難  
地とのニーズを伝えても  
らったり物品の配布な  
どを担当してもらうと  
いう。

奨学金は被災地で活  
動した海外医療チーム  
とAMD Aなどが共  
催。岩手の大槌、釜石  
外に、児童用のプレ  
イルームを設置してエ  
ネルギーの発散プログラ  
イバシー保護のため  
の間仕切りプログラム  
の実施——なども行っ  
た。

菅波代表は「西日本  
での大災害時に支援し  
てもらうという意味も  
含めて、岡山から支援  
を続けたい」と話して  
いる。

被災地支援について語るAMD Aの菅波代表(左)